

## 令和8年仕事始め式

# 馬のように駆けのぼる経営発展を目指そう

### 令和8年 3つの目標

- 一、地域とともに人が育つ  
JA菊池づくり
- 二、自己改革への挑戦
- 三、めざそう自律創造型職員



3つの目標・職員行動基準10カ条唱和



旭志中央支所  
上月職員



年頭訓示を述べる東組合長

### 今年という言葉

いっしんいちい

# 『一心一意』

心を一つにして一途に思うこと。  
 また、集中して一心に励むこと。  
 「一心」と「一意」はともに一つのことをただひたすらに思うこと。

仕事始め式を1月6日にパシオンで開き、常勤役員、担当理事、代表職員約200人が出席しました。旭志中央支所の上月職員が令和8年の目標を述べ、出席者全員で職員行動基準10カ条を唱和。東哲哉組合長が「農業情勢は依然として厳しい状況にあるが、『一心一意』という言葉のように、心を一つに目標達成のために頑張ろう。組合員の負託に応えるため役職員一丸となって難局を乗り越えよう。世の中の変化に負けず、干支の午(うま・馬)のように、駆けのぼる経営発展を目指して取り組んでいこう」と年頭訓示を述べました。また、二十歳を迎えた職員4人が紹介され、東組合長が記念品の紅白梅苗を手渡し、祝いました。菊陽町産のニンジンを使用した『うまcarrot』で乾杯し、新年の業務をスタートしました。



二十歳職員紹介  
左から 本田さん、松尾さん、森下さん、吉田さん



『うま(午)carrot』で乾杯!